



〈食〉

農薬から考える

私達の食生活は豊かになりました。しかし、その実態は農薬、輸入食品など様々な危険性を持った食品が多くなっています。知らず知らずにそれらを、毎日の食事で食べてしまっています。

- ・ 農薬の効果はどれだけあるのでしょうか。
- ・ 農薬を取り除く方法はあるのでしょうか。

上の2点を調べた事から、食生活において新しい発展がでないか考えてみました。

残留農薬



- ・ 農薬無添加表示と農薬添加表示のレモンを10日間くらべた物です。農薬無添加表示は2、3日ぐらいでカビが生え始める。しかし、農薬添加表示は10日立っても全く同じ状態。



- ・ 国産と輸入産のイチゴを10日間くらべた物です。やはりこれも無添加表示と添加表示と同じで、国産は2日ぐらいで腐り始めるが、輸入産は全く変化しなかった。

感想

アメリカなど諸外国から果物を輸入するには、数日から約10日近くの時間がかかる。その間に腐るのを防ぐためにはやはりかなりの量の農薬を使わなければしかたないのです。

2枚目の結果から

農薬を使わなければしかたないのなら
少しでも残留農薬を除いて、食べるよ
うにしたい。

残留農薬を除く方法

- ・流水でよくこすり洗いの上皮をむく
- ・葉ものは、ため洗いの上流水で洗っ
た上で真水を沸かして湯でこぼす
- ・外葉は捨てる
- ・ぬか床は、毎年取り返る
- ・あくぬき充分に

この事から、水を流しっぱなしにしたり
野菜や果物の捨てる部分が増えたりしま
す。そこで、次の4点を考える事ができ
ました。

- ・水の再利用について
- ・皮を再利用して、肥料にする事
- ・食べる直前に、農薬をなくす事
- ・食べる直前に、農薬の量を知る物

その中でも特に、水の再利用に
ついて考えてみました。

私達の考えている水の再利用

野菜や果物を洗った農薬が入った水を、きれいな水に戻す事です。

上水道には農薬は含まれていないと言うことは、浄水処理場で取り除かれていると言うことです。

それならば、一般に市販されている浄化装置に、浄水処理場に似た、農薬を取り除く方法を取り入れれば家庭でも手軽に水の再利用をすることができると考えました。

浄化した水を飲み水に使用するのに少し抵抗がある人は、洗い物などの水として使用することもできます。

～感想・まとめ～

水の再利用以外の3点でも、現在、行われていることもあれば、これからもっと考えたり研究していくこともできると思います。そうすれば、今より体に良い食生活ができるのではないのでしょうか。